

子どもの支援利用計画【週間計画表】

利用者氏名(児童氏名)	K・Tくん	住んでいる地域	〇〇市	相談支援事業者名	ひかり相談支援事業所
障害福祉サービス受給者証番号				計画作成担当者	遠山金ノ介
地域相談支援受給者証番号		通所受給者証番号			

計画開始年月 平成 29年 4月

	月	火	水	木	金	土	日・祝	主な日常生活上の活動
6:00								<p>★遊びについて *汗をいっぱいかいて、ダイナミックに体を動かすことが大好きなようです。これからはさらに体力はついてくるといいますので、Kくんにとって達成感を持って、何でも挑戦したくなる全身を使った運動、個人競技といったものを、できれば日常的に体験できるといいですね。 *描画では、やはり電車の絵が得意なようです。好きなものだけでもいいので、描くことはストレス発散にもなりますので、挑戦していくといいと思います。パソコンでは動画を眺めることも多いようですが、電車の写真を編集・加工していくなど、PCでも表現することの楽しさを味わえるといいと思います。関心のある遊びとは、学習でもあり、将来の仕事や余暇に結びつくものです。撮った写真を印刷して、切り貼りすることも時にやっていますが、一枚の紙にたくさんの写真を切り貼りして、Kくんの手間と、愛情をかけていけば、それは立派な芸術作品ですので、さらに試みていけるよう励ましていくことも大切だと思います。</p> <p>★外出について *ケガのないように見守っていくことは大切ですが、一方では、将来的に一人でいろいろなところに出かけられる力を持っています。何回の乗り換えでも、できるようになることでしょう。そのためには、外出時におろそかになること、声かけが必要なこと、苦手なことを、しっかりと把握していくことが重要です。あせらず、じっくりと見守りながら、どんなところで注意が必要かという目で普段から様子を見ていきましょう。少しでも多くの周りの大人がKくんの気持ちを理解した上で、多くの社会的経験を重ねていくよう支援していくことに、重点を置き続けたいものです。</p> <p>★人のかかわりについて *自分がほしいもの独占したり、自分のペースで関わろうとしたりすることもあると思いますが、厳しく指導していくのではなく、どうすればマルなのかを示していくことが、Kくんには必要かと思えます。何がマルで、何がバツなのかを、目で確認できる示し方にも気をつけて接していきたいものです。また、少々独りよがりのことであっても、主張していくことは、成長に必要なこととして、(何でもやっていいよというわけではありませんが、)まず「～したかったんだね。」と受け止めてから、どうすべきかを示していくことに留意すべきだと思います。</p>
	起床・朝食 身支度・学校準備					起床 朝食		
8:00	登校(お父さんかお母さんが後をついて、Kくんが校門に入るまで見守っているようですね。)							
10:00						自宅でのんびり	自宅でのんびり	
12:00	〇〇小学校 特別支援級	〇〇小学校 特別支援級	〇〇小学校 特別支援級	〇〇小学校 特別支援級	〇〇小学校 特別支援級	昼食		
14:00						お父さんとお 出かけ (日曜日になる ことも)	パソコン・ゲー ム等 公園遊び (自転車)	
16:00	放課後等 デイサービス れいんぼう	放課後等 デイサービス れいんぼう	放課後子ども教室 ひまわり	放課後等 デイサービス れいんぼう	放課後等 デイサービス れいんぼう			
18:00			兄のお迎え					
	毎日ではないが、お母さんと公園で遊ぶこともある							
20:00								
		パソコンでの学習			パソコンでの学習			
22:00								
0:00								
2:00								
4:00								

放課後子ども教室は、留守家庭の学童クラブとは別に、市が主催して、行っているクラブです。毎週水曜日実施。参加希望者は毎年3月に抽選で決まり、一年間参加できます。

サービス提供によって実現する生活の全体像
 日々の生活について、特に嫌なこともなく、お友達との時間も含めて、楽しんでいるKくんです。過ごしているそれぞれの場所で、やりたいことを見つけ、落ち着いて過ごすこともできています。ご両親にも温かく見守られ、持てる力をしっかりと発揮しながら成長しているようです。マイペースに見られがちなどころはありますが、周りの子どもらの行動はしっかりとチェックし、時々笑っている姿も多いように感じました。